

引きこもり経験のある若者らがカフェをオープン

知事もかけつけてエールを送りました



昨年9月、竜馬通り商店街に「カフェ月のとき」がオープン。引きこもり経験のある若者らが運営し、府の緊急雇用対策支援事業の認可も得ています。美山の卵や牛乳、京野菜などを販売し、カフェスペースは伏見酒かすりカレールなどが楽しめます。皆さんもぜひ一度ご利用ください。

障がいのある方が働く喫茶店が府庁内に開業

昨年4月、府庁の福利厚生センター1階に「喫茶ほっとはあと府庁店」が、また7月には京都テルサ西館1階にカフェ「はあとガーデン」が開店しました。NPO法人「ほっとはあとセンター」が運営し、障がいのある方が毎日いきいきと働いています。私も庁舎の喫茶店をランチタイムによく利用し、手作りのカレーやパスタ、オムライスなどをいただいています。府庁や京都テルサにお越しのときには、ぜひご利用ください。



府庁にお越しのときはぜひ

日野婦人会20周年記念事業として、日野小学校の中庭に野外炊事場「ふれあい広場」を寄贈してくださいました。この炊事場で日野の食材を使った料理づくりなどを行い、地域の子どもや若者、高齢者が交流できることを目的にしています。地震などの災害時の炊き出しでの利用も考えて設置されています。もちろん小学校の行事にも使われ



さまざまな利用ができるので、地域の皆さまの交流の場として活用されています

日野学区 日野婦人会寄贈の炊事場が「地域力再生P支援事業」に採用

大変有意義な施設になると思います。建設費用は、婦人会の皆さまが、バザーなどの活動で長年貯めてこられた収益金をあてていただきました。そこで少しでも皆さまの役に立てばと、京都府の地域力再生プロジェクト支援事業への申請をおすすめし、採用が決まり、全費用の3分の1が交付されました。

まちの落書きを一掃し美しく安心の京都の実現を



府職員と府民が力を合わせた活動に参加

まちの落書きを一掃することで犯罪を抑止する「割れ窓理論」の実践活動として京都府職員のボランティア「京都府庁落書きバス」

くにコラム



公式キャラクターの「まゆまこ」

来年秋に京都で開催される「国民文化祭」。現在、府内で平成23年12月末までに行う展示会やコンサートなどの情報をまとめた「京都文化年イベント絵巻」の参加者を募集中です。承認後は府実行委員会後援の名義が使える、情報を公式HPでのPRや、チラシの設置や掲示等の協力が得られます。詳細は実行委員会事務局 TEL075-414-4282 <http://kokubunsai-kyoto2011.jp/>

わたなべ邦子が知る知事の思いと情熱

私たち府民は、山田啓二知事の職務を見る機会はなかなかありません。そこで今回はわたなべ邦子が見て、感じた知事の仕事をとお伝えします。

府民の声を府政に活かす

山田知事が自ら府内各地に出かけて、府民と本音で話し合う「知事と和いおいミーティング」。平成14年に始まり昨年10月で87回を数えます。「府民の声を



夏に行ったそうめん流し大会にも参加した山田知事



わたなべ主催の府政トークにも出席

をオーバーしてしまうほど熱心に話されています。

府民一人ひとりの思いを大切にしたいという知事の思いは本物。私も見習いたいと思っています。

情熱のある職員が増えた

「お役所仕事で困る」という言葉は、京都府ではあまり聞かれませんが、それは山田知事が府職員の個性とやる気を尊重し、「やれることは精一杯やってみろ」と責任を与えているからです。また府職員と民間企業NPO職員、大学など連携・協力して、府政全般の課題の解決策を探る「庁内

ベンチャー事業」を実施。やる気をおこす職員を育てています。京都府と一緒に頑張っている職員が皆さんが多くいることを実感しています。これも山田知事のリーダーとしての成果だと思います。

すぐに動く、行動力

新型インフルエンザ対策では京都市と連携して感染防止対策を実施。修学旅行中等で影響が出る中小企業のために府市協力で緊急資金対策融資を決めました。

また11月の補正予算では「高校新卒未就職者緊急支援対策」として府が4カ月間100名を緊急雇用し、就職訓練や企業とのマッチングを行うという全国初の取り組みを決断しました。今、動かなければと思ったら、すぐに行動に移す山田知事の積極的な姿勢を私は何度も目撃しています。

わたなべ邦子の思い

知事の府政の舵取りをチエックし、厳しく評価することは議員の大切な仕事です。しかし立場は違っても「府民のために働く」という目的は、知事も議員も同じ。私は誰かに何かを指示するだけでなく、一緒に悩み、考え、話し合い、最善の解決策を出したいと思っています。行動しています。



そんな私のスタイルを理解してくれ、お互いに一線を画しながらも本音で語り合えるのが山田知事なのです。私はこれからも知事をはじめ府職員の皆さんと一緒に、京都府のために汗をかいて働きたいと思っています。

特集

山田知事の仕事ぶり